



いろは通信 春号

-ごあいさつ-

魯山人寓居跡いろは草庵は2017年10月で開館15周年を迎えます。無事迎えられたのも皆様の御理解、御協力あってのことだと思えます。この場をおかりしまして感謝申し上げます。そこで、いろは草庵では15周年を機に当館のお知らせ、近辺情報、魯山人うんちくなどを交えつつ「いろは通信」を発行いたします。お気づきの点がございましたらご指導ご鞭撻のほどお願い致します。スタッフ一同まだまだ未熟な点がありますが、よろしくお願い申し上げます。

魯山人寓居跡いろは草庵 スタッフ一同

「魯山人寓居跡いろは草庵」とは…?

加賀市山代温泉の中心街、服部神社下に位置する場所にあり、北大路魯山人が山代に滞在した際、住居兼仕事場とした建物として2001年4月「国指定有形文化財」として認定され、2002年10月一般公開になりました。



〔主屋〕

木造2階建、切妻造で、当地方にみられる妻構成をとるが、北東部を入隅として奥まったところに玄関を設け、煙出の小屋根を載せています。



〔土蔵〕

屋敷地の西端に位置し、母屋とは棟を直交する形で南北棟、切妻作り棧瓦葺の2階建て。改装し魯山人やゆかりの作品を展示しています。

「魯山人」って何者…?

きたおおじ ろさんじん
北大路 魯山人

書、篆刻、絵画、陶芸、漆芸、料理を極めた芸術家。明治16年京都に生まれ、昭和34年76歳でこの世を去る。書、篆刻、絵、陶芸、料理を極めた20世紀の芸術家であり自然界の美しさを師とし「自然美礼讃」を信条に、生涯をかけ美を追求しました。東京赤坂に会員制の高級料亭「星岡茶寮」を開設。彼岸不遜といわれた魯山人も、山代温泉の旦那衆とは晩年まで交流が続き喧嘩別れはしませんでした。

料理の器は
魯山人

「いろは草庵」の目玉は…? ウラ面へ

〔ロビー〕

母屋と土蔵をつなぐ空間
いろは草庵からのもてなし
四季折々の庭をご覧下さい



山代の別荘は
どんな様子かね

— 魯山人 —

いろは草庵と魯山人 —あなたの1点—

開館15周年企画

期間：2017年3月30日(木)～7月4日(火)

今までご来館いただきました方々のアンケートやお声を
基に人気の高い作品を一堂に展示いたします。
魯山人にとっての癒しと学びの故郷となったこの場所を
いろは草庵として守り継いでいきたいと願っています。



春の演奏会

開館15周年イベント

篠笛による演奏会を開催します。
30名様限定
特別な時間をお過ごしください

開催日：H29年5月10日(水)
午前10時～12時

篠笛奏者：八木 繁 氏

参加料：1000円

(お茶、上生菓子つき)



コデマリ

いろはのお庭

春分の日も迎え、日がだんだんと長くなってきます
いろはのお庭は、新芽が次々と顔を出しています。また
初夏の花たちも負けじと顔をだし始めています。コ
デマリ、木瓜、シャガ、、雪化粧の庭が新緑の
庭に生まれ変わります

いろはの1品

写真ハガキ 500円



【外観、寓居内、作品などの7枚組】

魯山人寓居跡いろは草庵

いろは通信 春号 No.1
発行 2017年4月

〒922-0242 石川県加賀市山代温泉18-5番地
Tel 0761-77-7111 fax0761-77-7110

HP:<http://www.kagashi-ss.co.jp/irohasouan/>
指定管理者:加賀市総合サービス株式会社

はじめました。

twitter&facebook

いろはのうんすし - 囲炉裏 -



-いろは草庵の空鉤-

囲炉裏には1つ1つ名前があります。天棚(てんだな)、空鉤(そらくぎ)、横木(よこぎ)、自在鉤(じざいかぎ)、その中でいろは草庵の空鉤は北陸独特な形状だそうです。縄を掛けるだけで機能的な意味合いはないようです。どうして大きく象徴的、装飾的なのかは不明。また別名「大黒」とよび、七福神の大黒天様から用いたようです。守り神が宿るなどの意味合いがあります。

